



「こんにちは 市長です」

1月15日号

コメが値下がりしている。新型コロナの拡大でコメの需要が減ってコメ余りが顕著になっている。一昔前なら食糧管理法があって毎年米価審議会が開かれた。農業関係者はねじり鉢巻きをして農林省と米価交渉である。日比谷公会堂かどこかで大集会を開いて「米価を上げろ！」と政府に圧力を掛けた。テレビで取り上げられるものだから農林族は選挙で落とされないように必死である。本年度なんか激しい交渉になったはずだが、今は農業者と農業者団体が市場の原理、つまり需給調整して米価を決める。3年前は60kg 13200円だったものが7500円、これじゃあ農家は辛抱するにもしきれない。太田市農協組合長から「給食のコメ、買い取り価格の上乗せ」の要望があった。標的は国ではなく市役所である。太田は5年前から学校給食のコメを「自給自足（自校方式）」に切り替えたが、しゃくし定規に7500円には変えられない。今は農家を守ることが必要だ。組合長と協議して、60kg 11,800円に決めた。価格だけではない、赤ちゃんの健診時には5kgずつ2回、「元気に育ててね」とコメでエールを送っている。サンダーズの試合や新春の集いなど機会を見ては太田のコメを配る。需要の拡大に協力していく。そのための精米所まで造った。

いずれ『農家離れ』が起こる。これしか収入がないなら「農家を辞める」ということになる。実際、耕作放棄地が81haにもなった。多分、もっと増える。

組合長が「コメの作付け支援を」と言う。コシヒカリだって4割近く下がった。農業を続けたい、そのやる気を起こさせるために1反5千円を助成してほしい、と。土地の荒廃は災害に弱いまちにつながる。国が農家支援をすべきであるが、今は市が3月補正予算で対応するしかないと思う。（12/27記）